

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

書名 項目	新編 新しい国語	2 東 書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「目標」とは別にキャラクターの吹き出しで生徒目線の「問いかけ」により読むときの着目点が示されている。 ・各単元の「てびき」で段階的に学べる設定がされている。 ・二次元コードから動画で学習の流れが確認でき個別最適な学びにも対応している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「てびき」の中の「たすけ」により、「読むこと」の教材においてどのように読むか生徒自身がつかみ、学習を進められる工夫がされている。 ・「広がる言葉」により教材文をもとに、語彙を増やす工夫がされている。 ・二次元コードから「考える力を育む思考ツール」としてフローチャートなど9つのコンテンツが収録されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「振り返る」では自分の言葉でまとめられるようになっている。 ・「言葉の力」により読解のポイントが示されると共に、抽象的な内容理解を図解により助けている。 ・「学びを支える言葉の力」が関連の深い3領域の前後に意図的に配置され学習した教材を生かすことができるよう工夫された配置がされている。 ・各学年末の教材「未来への扉」1年間の学習の総まとめとして、「言葉の力」を使って考えを深め、生徒が対話を通して自分や社会の未来について考える教材が設定されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科との関連を示すマークが設置されている。 ・全学年「情報と論理の学び」項目で、情報と情報の関係や情報の整理の仕方が体系的に学ぶことができる。 ・「未来を考える9つのテーマ」により、国語の学習を通して自分や社会課題と向き合えるよう工夫がされている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・色の違いによる区別を用いたマークなどユニバーサルデザインの配慮がある。 ・デジタルコンテンツとして400以上用意されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・掲載ページ数を減らし、デジタル化することで持ち帰りの負担が軽減されている。 ・1年「朗読の世界」は他教材よりフォントサイズが大きく、小学校高学年にサイズが合わされている。また、教科書前半には小学校で学んだ内容の復習と応用となるように教材が配置されている。 ・デジタル教科書は翻訳サイトに対応しており、外国籍の生徒に対応している。 ・小学校で学習しない字の初出箇所にふりがなが付いている。 ・古典の導入として、浦島太郎などが掲載され、古典に親しみを持つ工夫がされている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

書名 項目	現代の国語	15 三省堂
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各教材「目標」が設定され、「◎」「○」の記号でつきたい力として「何を学ぶのか」というねらいが明確に示されている。 ・「学びの道しるべ」によりめあてに即した学習過程が明確化されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「学びの道しるべ」内で、「思考の方法」でどのように考えればよいか、「読み方を学ぼう」ページで、どのように学べばよいかを示されている（3年間で22方略）。 ・「学びの道しるべ」に記された課題に「対話」を促す活動が提示され、協働的な学びにつながっている。 ・二次元コードから参考資料や書き方・読み方・まとめ方などの方法と具体例が閲覧できる。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教材冒頭の学習目標から末尾の振り返る活動で自己の学習が振り返ることができるようになっている。 ・学年の巻末に「読み方を学ぼう」一覧があり、学習の振り返りができる。 ・「読むこと」の単元後に「話すこと・聞くこと」の教材が配置されるなど、単元間の関連づけがされている。 ・現代社会と関連した教材や資料により、他教科や実生活につながるができる。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「英語と比較する」など教科横断的な学びにつながる関連した題材が設定されている。 ・全領域において「つきたい力」との関連を明確にした言語活動が取り上げられている。 ・全学年に「情報の扱い方」の単元がある。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・J-POPの歌詞が教材として掲載され、生徒の興味関心を引く工夫がされている。 ・重要度に応じたフォントサイズや、マーカーを引くなどの視覚的工夫がされている。 ・デジタルコンテンツとして500以上用意されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生では、説明文の基本構造を捉えることができる作品『ペンギンの防寒着』が掲載されている。 ・教材で取り上げる話題が生徒の身のまわりの日常生活から、社会生活へと広がるようになっている。 ・古典の導入として「月を思う心」が掲載され、親しみを持つ工夫がされている。また、挿絵によって物語の内容が把握できるようになっている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

書名 項目	伝え合う言葉		17 教出
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文や学習活動の前に「学びナビ」があり、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」目的意識を持てる工夫がある。 ・「読むこと」教材には指導事項に対応した「目標」が設定され見通しを持つ工夫がされている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みちしるべ」により「学びナビ」をヒントに、目的意識を持って取り組める。また、学習プロセスに沿って意見の引き出し、思考の形成、学びの共有が意図的に取り入れられている。 ・「言葉と情報」で単元に関連した言葉や表現について学ぶことができる。 ・「自分の考えを伝え合おう」という学習課題で対話的な学びのできる課題が設定されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の「目標」→「学びナビ」→「みちしるべ」→「振り返り」が一連の流れとなっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に「学びを生かす」項目があり、他教科の学習や学校生活、社会生活にどのように生かすか示されている。 ・「言葉の地図」により一年間の学びが明示されている。 ・「学びリンク+（Webコンテンツ）」で、ワークシート・プリント集・小テストが掲載されている。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な未来を創るために」がSDGs教材として設けられ、生徒が日常生活の中から課題を見出し、解決のため自ら問いを持ち、考えを深める教材が用意されている。 ・単元毎にSDGsに該当する目標が示されている。 ・情報を扱う様々な媒体や手法を知り、表現する学習活動教材（写真・広告・漫画・脚本等）が用意されている。 		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年教科書では文章作品のフォントサイズが他学年と比べ大きくなっている。 ・デジタルコンテンツが150用意されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の「入門期」として領域ごとに学びをスモールステップ化した教材が配置され、小中の学習の引き継ぎや学習意欲の向上が図られている。また、説明的・文学的文章は短い作品から始まり、学習が進むにつれ長文の作品となっている。 ・古典の導入として「桃太郎」が掲載され、親しみを持つ工夫がされている。 ・3年生で「おくのほそ道」を学び、関連ある漢詩の学習が配置されている。 ・3年の文法学習として、「助詞・助動詞のはたらき」が配置されている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">国語</p>		<p style="text-align: center;">38 光村</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びへの扉」で学習の流れを見通す工夫がある。キャラクターの吹き出しで、自らの学習の調整のヒントとなる言葉が掲載されている。 ・「学びのカギ」で身に付ける資質・能力が焦点化されている。図解で示すことで流れも「見える化」されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考の地図」が巻頭にあり、場面や目的に応じた様々な思考の方法が示されている。 ・「言の葉ポケット」や「語彙ブック」により、言葉を文脈の中で学ぶ形になっている。さらに語彙が「描写」「言動」「思考」に整理されている。 ・多様な解釈ができる教材により、子供同士の対話が自然と生まれるよう工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返る」で、何ができるようになったのかという「自己評価」を自分の言葉で言語化できる工夫がある。 ・各学習項目にSDGsに関する達成項目が示されている。 ・「学びのカギ」が全領域に設定されていることで、「読むこと」で習得した資質・能力を「話すこと・聞くこと」「書くこと」で活用することで理解を深め、実生活に役立つ力として定着できるよう工夫されている。 ・「学習者用デジタル教科書」内ポートフォリオで振り返りを「学習ログ」として蓄積することができる。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つなぐ」で他の学習につながる問いが設定されている。 ・「情報×SDGs」により3年間を通して情報活用能力を養う教材が新設され、実社会と関連ある教材が取り入れられている。 ・SDGsに関連する目標が教材内に示されている。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典資料が大判資料となり、両観音開き構造になっている（2、3年）。 ・領域ごとに色を変えてあり、視覚的に分かる工夫がされている。 ・デジタルコンテンツとして350以上用意されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生では視野を広げ、2年生では論理を吟味し、3年生では価値を創造する説明文の配置になっている。文学教材では、現代作家の書き下ろしも新たに加えられている。 ・文法や言葉の学習は、日常生活から題材が取り上げられている。 ・二次元コードから「CBT」形式での教科書掲載問題と発展問題が収録されている。 ・古典の導入に「いろは歌」が掲載され、古典に親しみを持つ工夫がされている。また、2年の冒頭に「枕草子」が配列されている。 		